

ウイルス感染症及び帯状疱疹予防のため、アシクロビルを前処置開始時から経口投与を行う。カリニ肺炎の予防のため、Sulfamethoxazole/Trimethoprim 合剤を生着後から投与を行う。

サイトメガロウイルス感染予防として、サイトメガロウイルス抗原血症検査(C7-HRP あるいは C10/C11)を生着後 Day 100 まで、7-10 日ごとに施行する。サイトメガロウイルス抗原血症検査の結果に基づいて適宜ガンシクロビルを投与する。ガンシクロビル投与法は各施設の方法による。

その他、日本造血細胞移植学会編「造血幹細胞移植後早期の感染管理に関するガイドライン」に従うこととする。

5. 有害事象の報告

「重篤な有害事象」または「予期されない有害事象」が生じた場合、施設研究責任者は研究事務局へ報告する。

報告書式は、試験開始前に予めプロトコールとともに研究事務局から各施設に配布される。

なお、薬事法に基づく副作用などの厚生労働大臣への報告（宛先：厚生労働省医薬食品局 安全対策課 FAX:03-3508-4364 書式は <http://www.info.pmda.go.jp/info/houkoku.html>）、臨床研究に関する倫理指針（平成 20 年 7 月 31 日全部改正）に基づく重大な有害事象などの各施設の参加施設の長への報告、参加施設から企業への副作用に関する連絡については、それぞれの施設の規定に従って各施設研究責任者の責任において適切に行なうこと。

5.1 報告義務のある有害事象

5.1.1 急送報告義務のある有害事象

以下のいずれかに該当する有害事象は急送報告の対象となる。

(1) プロトコール治療中又はプロトコール治療最終日から 30 日以内の全ての死亡
プロトコール治療との因果関係の有無は問わない。また、プロトコール治療中止例の場合、後治療が既に開始されていても、プロトコール治療最終日から 30 日以内であれば急送報告の対象とする。

（「30 日」とは、最終プロトコール治療日を day0 とし、その翌日から数えて 30 日を指す。）

登録後、プロトコール治療未施行で死亡した場合は、急送報告の対象とはしない。但し、登録時の適格性の検討など必要な評価はモニタリングにて適切に行なうこと。

(2) 予期されないグレード 4 の有害事象

「8. 予期される有害反応」に「重篤な有害反応」として記載されていないグレード 4 の有害事象。

プロトコール治療との因果関係あり (definite、probable、possible のいずれか) と判断されるものを急送報告の対象とする。

5.1.2 通常報告義務のある有害事象

(1)～(4)のうちプロトコール治療との因果関係あり (definite、probable、possible のいずれか) と判断されるものを通常報告の対象とする。

(1) プロトコール治療最終日から 31 日以降の死亡

治療関連死の疑いのある死亡が該当する。明らかな原病死は該当しない。

(2) 予期されるグレード4の非血液毒性(NCI-CTCAE Ver. 3.0 日本語訳 JCOG/JSCO 版における血液/骨髄区分以外の有害事象)

「8. 予期される有害反応」に「重篤な有害反応」として記載されているグレード4の非血液毒性。

予期されていても重篤な有害事象は通常報告の対象となることに注意する。

(3) 予期されないグレード3の有害事象

「8. 予期される有害反応」に記載されていないグレード3相当の有害事象。

(4) その他重大な医学的事象

「5.1.1.」の(1)(2)、「5.1.2.」の(1)～(3)のいずれにも該当しないが、研究グループで共有すべきと思われる重要な情報と判断されるもの。永続的又は顕著な障害(MDS、二次がん等を除く)、先天異常など後世代への影響についてなど。

二次がん等は通常報告の対象とせず、追跡調査で情報収集することとする。モニタリングで発生頻度を報告する。

5.2 施設研究責任者の報告義務と報告手順

5.2.1 急送報告

急送報告の対象となる有害事象が発生した場合は、担当医師は速やかに施設研究責任者に伝える。施設研究責任者に連絡が取れない場合は、担当医師が施設研究責任者の責務を代行しなければならない。

(1) 1次報告

施設研究責任者は有害事象発生を知ってから、72時間以内に「急送1次報告書」に所定事項を記入し、研究事務局へFAX送付及び電話連絡を行なう。

(2) 2次報告

さらに施設研究責任者は「報告書」に所定事項を記入し、より詳しい情報を記述した症例報告(A4自由書式)を別紙として作成し、有害事象発生を知ってから15日以内に両者を研究事務局へ郵送又はFAX送付する。剖検がなされた場合は、原則として、剖検報告書も速やかに送付すること。

5.2.2 通常報告

施設研究責任者は「報告書」に所定事項を記入し、有害事象発生を知ってから15日以内に研究事務局へ郵送又はFAX送付する。

5.3 研究代表者/研究事務局の責務

5.3.1 登録停止と緊急通知必要性の判断

施設研究責任者から報告を受けた研究事務局は研究代表者に報告し相談の上、報告内容の緊急性、重要性、影響の程度等を判断し、必要に応じて登録の一時停止(全参加施設へ連絡)や参加施設への周知事項の緊急連絡などの対策を講ずる。施設への連絡においては、緊急度に応じて電話連絡も可であるが、追って速やかに文書(FAX・郵送・電子メール・手渡し)による連絡も行う。

5.3.2 効果・安全性評価委員会への報告

研究事務局は研究代表者に報告し相談の上、施設から急送報告又は通常報告された有害事象が、「5.1. 報告義務のある有害事象」に該当すると判断した場合、有害事象の

発生を知ってから 15 日以内に効果・安全性評価委員会に文書で報告し、同時に当該有害事象に対する研究代表者の見解と有害事象に対する対応の妥当性についての審査を依頼する。

その際、施設から送付された「急送 1 次報告書」及び「報告書」に研究事務局/研究代表者としての検討結果や対策（試験の続行/中止の判断を含む）などを含める。また、「5.1.1.」(1)の 30 日以内の死亡、「5.1.2.」(1)の 31 日以降の死亡のうち治療関連死と判断されるもの、及び、「5.1.2.」(2)の予期されるグレード 4 の非血液毒性については、個々の患者の経過のみならず、出現頻度が予期された範囲内か否かについての考察を含める。出現頻度が予期された範囲を越えると判断される場合は、「報告書」にもその旨記載する。

5.3.3 施設の研究者への通知

研究事務局/研究代表者は、効果・安全性評価委員会への報告を行なった場合、効果・安全性評価委員会の審査・勧告内容を試験参加全施設の責任医師に文書にて通知する。

効果・安全性評価委員への報告を行なわなかった場合も、研究事務局/研究代表者は、報告を行なった施設の施設研究責任者に研究事務局/研究代表者の判断を文書にて通知する。

5.4 効果・安全性評価委員会での検討

効果・安全性評価委員会は、「臨床安全性情報取扱いガイドライン」記述された手順に従って報告内容を審査・検討し、登録継続の可否やプロトコル改訂の要否を含む今後の対応について研究代表者に文書で勧告する。

<使用する研究費>（必ずどれかを選択。）

運営交付金 科学研究費 厚生労働科学研究費
その他公的研究費（ ） 寄附金・研究助成金 共同研究費
（ ）、受託研究費（ ） その他（ ）

<共同研究機関>

北海道大学医学部皮膚科

<外部委託>

移植前後の皮膚生検検体の評価について、連結可能匿名化したのちに北海道大学医学部皮膚科に検体を送付し、解析を依頼する。

IV 研究等の実施場所

名古屋大学医学部小児科血液グループ研究室、名古屋大学医学部皮膚科研究室、小児科病棟（5E）および小児科外来、皮膚科外来

V 実施に際しての倫理的配慮について

V-1<研究等の対象とする個人の人権への対策>

本研究に関係する全ての研究者は、ヘルシンキ宣言(2008年10月ソウル総会で修正、日本医師会：http://www.med.or.jp/wma/helsinki08_j.html)、臨床研究に関する倫理指針(平成20年厚生労働省告示第415号)、疫学研究に関する指針(平成19年文部科学省・厚生労働省告示第1号)(厚生労働省：<http://www.mhlw.go.jp/general/seido/kousei/i-kenkyu/>)に従って本研究を実施する。

V-2<対象者を選ぶ方針・基準>

本学にて診療を行っている、先天性表皮水疱症と診断されている1歳以上30歳未満の患者のうち、説明文書・同意文書により本研究参加への同意が得られた患者。

謝金等 無 有

V-3<個人情報の取り扱いについて>

登録患者の同定や照会は、登録時に発行される登録番号、患者イニシャル、生年月日、カルテ番号等を用いて行われる。登録患者の氏名は本学から共同研究機関に知らされることはなく、データ・患者検査結果の連絡は登録番号を用いて行われる。匿名化は連結可能匿名化であり、連結表の保管は名古屋大学医学部小児科血液グループ研究室にて保管する。

- 1) 個人情報管理施設が名古屋大学大学院医学系研究科・附属病院に...該当する
該当しない
- 2) 個人情報管理施設が名古屋大学大学院医学系研究科・附属病院に該当する場合
個人情報管理者氏名：高橋義行
資格(医師、臨床検査技師等)：医師
- 3) 匿名化の有無.....匿名化する 匿名化しない
- 4) 匿名化する場合.....連結可能匿名化 連結不可能匿名化
- 5) 連結可能匿名化する場合は連結表の管理方法を具体的に記載： _____
登録患者の同定や照会は、登録時に発行される登録番号(あるいは登録コード)、患者イニシャル、生年月日、カルテ番号等を用いて行われる。匿名化は連結可能匿名化であり、連結表の保管は名古屋大学医学部小児科血液グループ研究室にて保管する。
- 6) 匿名化しない場合は個人情報保護の方法を具体的に記載： _____
- 7) 個人情報管理施設が名古屋大学以外にある場合の個人情報管理者氏名・所属と個人情報保護を具体的に記載： _____

V-4<対象者に理解を求め同意を得る方法> (下記の該当項目を選択する)

対象者各人に (1.書面のみ 2.口頭のみ 3.書面と口頭) で説明した後

- A. 対象者の署名入りの同意書を保管する。
- B. 対象者の同意の署名が記された診療録を保管する。
- C. 対象者の同意の署名が記された調査票を保管する。

V-5<同意の撤回>

本研究への参加に同意した場合でも、いつでもこれを撤回することができる。

V-6<対象者が未成年者の場合、成年者でも十分な判断力のない場合 又は病名に対する配慮が必要な場合などにおける対処方法。>

- A 下記特例を対象にしない (対処方法の記載の必要がない)
- B 未成年者
- C 十分な判断力がない成年者
- D 意識のない成年者
- E 病名に対する配慮が必要な成年者
- F その他 (理由:)

具体的な対処方法: (下記の該当項目を選択。複数選択可。例外の場合は対処方法を具体的に記載。)

- インフォームド・アセントを取得する。
- 保護者・代諾者の署名入りの同意書を保管する。
- 保護者・代諾者の同意の署名が記された診療録を保管する。
- 保護者・代諾者の同意の署名が記された調査票を保管する。

V-7<分析結果の開示>

研究結果の分析結果のうち、個人の検査結果についてはその都度本人あるいは代諾者へ開示を行う。

VI 期待される研究成果あるいは予測される利益

本研究を実施することで、国内の先天性表皮水疱症の症例に対する同種造血幹細胞移植による治療の安全性、治療成績に関する情報が得られ、結果的に国内の先天性表皮水疱症患者の生命予後・QOL改善ができる可能性がある。

同疾患は従来有効な治療法のない疾患であり、本研究に参加することにより、海外からの報告と同様に先天性水疱症に対する有効性が確認できれば、研究参加に伴う利益となりうる。

VII 予測される危険と不利益とそれに対する配慮・補償

同種造血幹細胞移植はすでに白血病や各種血液疾患に対する治療法として確立された治療法であるが、現在なおも GVHD、感染など致死的な合併症の可能性のある治療法

であり、本研究に参加して同種造血幹細胞移植による治療を受けることで合併症により早期死亡に至るリスクがあり、予測される危険と不利益と考えられる。研究参加に先立ち、同種造血幹細胞移植の合併症に対する説明を十分に言い、同意を得られた患者のみを研究参加症例とする。予測される合併症が認められた場合には、速やかに保険適応内の治療で対応する。

Ⅶ-1 <研究等によって対象者に生じうる危険と不快に対する具体的配慮>

- ・血液検査、皮膚生検による痛み
- 通常の手技（静脈穿刺、トレパンによるパンチ生検）を用い、特に年少児においては静脈麻酔等の使用について患者および家族に提示する。
- ・同種造血幹細胞移植の各種合併症
- 各種合併症の発症を認めた際には、速やかに保険適応内の治療で対応する。

Ⅶ-2 <対象者に健康被害が生じた場合の補償の有無及び具体的な措置>

研究の種類を選択すること

■①介入を伴う研究であって、医薬品又は医療機器を用いた予防、診断又は治療方法に関するもの（対外診断を目的とした研究を除く）

「補償のための保険その他の必要な措置」について、事前に十分な説明を行い、対象者の同意を受けなければならない。

□②それ以外の介入を伴う研究（体外診断を目的とした研究を含む）

補償の有無を説明する必要がある。

□③観察研究にあたっては、試料等の採取が侵襲性を有する場合

補償のための保険等必要な措置の有無等を対象者に十分に説明する必要がある。

補償の種類を選択すること

□補償のための保険を設定した

□補償のための保険を設定する予定である（具体的内容： ）

□保険以外の対処方法を講じた（具体的内容： ）

■補償がない旨を説明する

措置内容

■説明同意文書に補償のための保険等必要な措置について記載した

□補償のための保険等必要な措置を証明する文書を添付した

Ⅷ 既存試料の利用

注）既存試料：臨床研究計画書の作成時までに既に存在する資料又は臨床研究計画書の作成時以降に収集した資料であって収集の時点においては当該臨床研究に用いることを目的としていなかったものをいう。

1 既存試料の利用 ■あり □なし

2 利用することへの同意

□ 取得している、

■ 過去に取得していないが新たに同意を得る

□ 過去に取得していないし、新たに同意を得ない

3 匿名化について

連結不可能匿名化 連結可能匿名化 匿名化しない

4-1 同意を取得せず、連結不可能匿名化をしない場合（すべて充足用）

- 別の研究において同意を得た試料か否か
- 同意が当該研究の目的と相当の関連性の有無
- 研究情報の公開

4-2 同意を取得せず、連結不可能匿名化をしない場合（すべて充足用）

- 公衆衛生上の向上のために必要
- 被験者の同意を得ることが困難
- 研究情報の公開
- 試料提供者が拒否する機会の保証

5-1 所属機関外からの試料の提供の有無 無

5-2 所属機関外への試料の提供の有無 無

IX 研究期間終了後の試料の取扱い

廃棄する

保存する

（保存するを選択した場合は下記について記載すること。）

ア 試料等の名称：血液検体、皮膚生検検体

イ 試料等の保管場所：名古屋大学小児科血液グループ研究室

ウ 試料等の管理責任者：高橋義行

エ 被験者等から得た同意の内容（将来にわたって試料を解析する場合はその旨を対象者に説明し同意を得ること）：本研究においては、診断・検査の余剰検体の二次利用について改めて代諾者から同意を得た上で、名古屋大学小児科血液グループ研究室に余剰検体を保存する。

匿名化の方法

連結可能匿名化（理由：患者臨床情報との関連を解析するため。）

連結不可能匿名化

バンクへの寄付の有無

X 備考

企業等法人との利益相反はない。

XI 参考文献

1. Fujita Y, Abe R, Inokuma D, Sasaki M, Hoshina D, Natsuga K *et al.* Bone marrow transplantation restores epidermal basement membrane protein expression and rescues epidermolysis bullosa model mice. *Proc Natl Acad Sci USA* 2010; 107(32): 14345-50.

2. Chino T, Tamai K, Yamazaki T, Otsuru S, Kikuchi Y, Nimura K *et al.* Bone marrow cell transfer into fetal circulation can ameliorate genetic skin diseases by providing fibroblasts to the skin and inducing immune tolerance. *Am J Pathol* 2008; **173**(3): 803-14.
3. Tolar J, Ishida-Yamamoto A, Riddle M, McElmurry RT, Osborn M, Xia L *et al.* Amelioration of epidermolysis bullosa by transfer of wild-type bone marrow cells. *Blood* 2009; **113**(5): 1167-74.
4. Wagner JE, Ishida-Yamamoto A, McGrath JA, Hordinsky M, Keene DR, Woodley DT *et al.* Bone marrow transplantation for recessive dystrophic epidermolysis bullosa. *The New England journal of medicine* 2010; **363**(7): 629-39.

[V]

研究成果の刊行に関する一覧表

1. 雑誌

欧文

著者名	論文題目	雑誌名	巻:頁, 西暦年号
Sugaya M, Hamada T, Kawai K, Yonekura K, Ohtsuka M, Shimauchi T, Tokura Y, Nozaki K, Izutsu K, Suzuki R, Setoyama M, Nagatani T, Koga H, Tani M, <u>Iwatsuki K</u>	Guidelines for the management of cutaneous lymphomas (2011): a consensus statement by the Japanese Skin Cancer Society - Lymphoma Study Group.	J Dermatol	40:2-14, 2013
Yamasaki O, Shibata H, Suzuki N, Ikeda K, Takeshima C, Otsuka M, <u>Aoyama Y</u> , <u>Iwatsuki K</u>	Granulocyte colony-stimulating factor-producing squamous cell carcinoma of the skin associated with epithelial-mesenchymal transition	Eur J Dermatol	23:413-414, 2013
Kamiya K, <u>Aoyama Y</u> , Kawase K, Schmidt E, Zillikens D, Kitajima Y, <u>Iwatsuki K</u>	Case of subepidermal blistering disease with autoantibodies to both laminin- γ 1 and laminin- α 3.	J Dermatol	40:491-492, 2013
Kamiya K, Yamasaki O, Tachikawa S, <u>Iwatsuki K</u>	Localized cutaneous argyria in a silversmith.	Eur J Dermatol	23:112-113, 2013
Nakanishi G, Hasegawa K, Oono T, Koshida S, Fujimoto N, <u>Iwatsuki K</u> , Tanaka H, Tanaka T	Novel and recurrent PORCN gene mutations in almost unilateral and typical focal dermal hypoplasia patients.	Eur J Dermatol	23:64-67, 2013
<u>Iwatsuki K</u> , Nakayama Y, Hamada T, Nakanishi G, Shirafuji Y, Morizane S	Immunological and structural remodeling in human papillomavirus-induced warts and Bowen disease	Eur J Dermatol, suppl.	23:s25-30, 2013
Ono S, Tanioka M, Tanizaki H, Fujisawa A, Koga H, Hashimoto T, Kamiya K, Aoyama Y, <u>Iwatsuki K</u> , Miyachi Y	Concurrence of autoantibodies to bullous pemphigoid antigens and desmoglein 3: analysis of pathogenic and nonpathogenic antibodies	Br J Dermatol	168:1357-1360, 2013
Shimizu Y, Sugiura K, Aoyama Y, Ogawa Y, Hitomi K, <u>Iwatsuki K</u> , <u>Akiyama M</u>	Novel ABCA12 missense mutation p. Phe2144Ser underlies congenital ichthyosiform erythroderma.	J Dermatol	40:582, 2013
Komori S, Asai J, Takenaka H, Kuroda J, Hirai Y, <u>Iwatsuki K</u> , Katoh N	Chronic active Epstein-Barr virus infection with progression to large granular lymphocytic leukemia	J Dermatol	40:487-488, 2013
Imai Y, Aochi S, <u>Iwatsuki K</u> , Sano H, <u>Yamanishi K</u>	YKL-40 is a serum biomarker reflecting the severity of cutaneous lesions in psoriatic arthritis.	J Dermatol	40:294-296, 2013
<u>Iwatsuki K</u> , Hamada T, Japan Skin Cancer Society-Lymphoma Study Group.	Current therapy of choice for cutaneous lymphomas: complementary to the JDA/JSCS guidelines.	J Dermatol	in press
Bektas M, Jolly PS, Berkowitz P, <u>Amagai M</u> , Rubenstein DS	A pathophysiologic role for epidermal growth factor receptor in pemphigus acantholysis	J Biol Chem	288:9447-9456, 2013
Shimizu A, Funakoshi T, Ishibashi M, Yoshida T, Koga H, Hashimoto T, <u>Amagai M</u> , Ishiko A	IgG deposition to non-hemidesmosomal lamina lucida and the early neutrophil involvement are the characteristic features in a case with anti-p200 pemphigoid	Br J Dermatol	168:647-655, 2013
Toumi A, Saleh MA, Yamagami J, Abida O, Kallel M, Masmoudi A, Makni S, Turki H, Hachiya T, Kuroda K, Stanley JR, Masmoudi H, <u>Amagai M</u>	Autoimmune reactivity against precursor form of desmoglein 1 in healthy Tunisians in the area of endemic pemphigus foliaceus	J Dermatol Sci	70:19-25, 2013

著者名	論文題目	雑誌名	巻:頁, 西暦年号
Hata T, Nishimoto S, Nagao K, Takahashi H, Yoshida K, Ohyama M, Yamada T, Asano K, <u>Amagai M</u>	Ectopic expression of epidermal antigens renders the lung a target organ in paraneoplastic pemphigus	J Immunol	191:83-90, 2013
Nishimoto S, Kotani H, Tsuruta S, Shimizu N, Ito M, Shichita T, Morita R, Takahashi H, <u>Amagai M</u> , Yoshimura A	Th17 Cells Carrying TCR Recognizing Epidermal Autoantigen Induce Psoriasis-like Skin Inflammation	J Immunol	191:3065-3672, 2013
Oka A, Mabuchi T, <u>Ikeda S</u> , <u>Terui T</u> , Haida Y, <u>Ozawa A</u> , Tatsu K, Kulski JK, Inoko H.	IL12B and IL23R gene SNPs in Japanese psoriasis.	Immunogenetics	65:823-828, 2013
Ohtsuki M, <u>Terui T</u> , Ozawa A, Morita A, Sano S, Takahashi H, <u>Komine M</u> , Etoh T, Igarashi A, Torii H, Asahina A, Nemoto O, Nakagawa : Biologics Review Committee of the Japanese Dermatological Association.	Japanese guidance for use of biologics for psoriasis (the 2013 version).	J Dermatol	40:683-695, 2013
Hatada Y, Kahiwakura J, Hayama K, Fujisawa D, Sasaki-Sakamoto T, <u>Terui T</u> , Ra C, Okayama Y.	Significantly high levels of anti-dsDNA immunoglobulin E in sera and the ability of dsDNA to induce the degranulation of basophils from chronic urticaria patients.	Int Arch Allergy Immunol	161(Suppl 2): 154-158, 2013
Kawashima M, Yokose U, Hachiya A, Fujimura T, Tsukahara K, Kawada H, Kitahata T, Takema Y, <u>Terui T</u> , Nakagawa H.	Improvement of crow's feet lines by topical application of 1-carbamimidoyl-L-proline (CLP).	Eur J Dermatol	3:195-201, 2013
Yamamoto K, Murata H, Putranto EW, Kataoka K, Motoyama A, Hibino T, Inoue Y, <u>Sakaguchi M</u> , Huh NH	DOCK7 is a critical regulator of the RAGE-Cdc42 signaling axis that induces formation of dendritic pseudopodia in human cancer cells.	Oncol Rep	29:1073-1079, 2013
Putranto EW, Murata H, Yamamoto K, Kataoka K, Yamada H, Futami J, <u>Sakaguchi M</u> , Huh NH	Inhibition of RAGE signaling by intracellular delivered-inhibitor peptides using PEI-cationization.	Int J Mol Med	32:938-944, 2013
Hibino T, <u>Sakaguchi M</u> , Miyamoto S, Yamamoto M, Motoyama A, Hosoi J, Shimokata T, Ito T, Tsuboi R, Huh NH	SI00A9 is a novel ligand of EMMPRIN that promotes melanoma metastasis.	Cancer Res	73:172-183, 2013
Murata H, <u>Sakaguchi M</u> , Kataoka K, Huh NH	SARM1 and TRAF6 bind to and stabilize PINK1 on depolarized mitochondria.	Mol Biol Cell	24:2772-2784, 2013
Saito K, <u>Sakaguchi M</u> , Iioka H, Matsui M, Nakanishi H, Huh NH, Kondo E	Coxsackie and adenovirus receptor is a critical regulator for the survival and growth of oral squamous carcinoma cells.	Oncogene	doi:10.1038/onc.2013.66. (in press)
Meehansan J, <u>Komine M</u> , Tsuda H, Karakawa M, Tominaga S, Ohtsuki M.	Expression of IL-33 in the epidermis: The mechanism of induction by IL-17.	J Dermatol Sci	71(2):107-14, 2013
Nagai T, Karakawa M, <u>Komine M</u> , Muroi K, Ohtsuki M, Ozawa K.	Development of psoriasis in a patient with chronic myelogenous leukaemia during nilotinib treatment.	Eur J Haematol	91(3):270-2, 2013
Maki N, <u>Komine M</u> , Takatsuka Y, Maekawa T, Murata S, Ohtsuki M.	Pustular eruption induced by sorafenib in a case of psoriasis vulgaris.	J Dermatol	40(4):299-300, 2013

著者名	論文題目	雑誌名	巻:頁, 西暦年号
Shinkuma S, <u>Nishie W</u> , Jacyk WK, Natsuga K, Ujiie H, Nakamura H, <u>Akiyama M</u> , <u>Shimizu H</u>	A Novel Keratin 5 Mutation in an African Family with Epidermolysis Bullosa Simplex Indicates the Importance of the Amino Acid Located at the Boundary Site Between the H1 and Coil 1A Domains.	Acta Derm Venerol	93:585-587, 2013
Furumoto T, Ozawa N, Inami Y, Toyoshima M, Fujita K, Zai-ki K, Sahara S, Akita M, Kitamura K, Nakaoji K, Hamada K, <u>Tamai K</u> , <u>Kaneda Y</u> , Maeda A	Mallotus philippinensis bark extracts promote preferential migration of mesenchymal stem cells and improve wound healing in mice.	Phytomedicine	2013 Oct 29. pii: S0944-7113(13)00360-7. doi: 10.1016/j.phymed.2013.09.003. [Epub ahead of print]
Saga K, <u>Tamai K</u> , Yamazaki T, <u>Kaneda Y</u>	Systemic administration of a novel immune-stimulatory pseudovirion suppresses lung metastatic melanoma by regionally enhancing IFN- γ production.	Clin Cancer Res	2013 Feb 1;19(3):668-79. doi: 10.1158/1078-0432.CCR-12-1947.
Kato K, Otake H, Tagaya M, Takahashi Y, Ito Y, Hama A, Muramatsu H, <u>Kojima S</u> , Nagawana S, Nakashima T	Progressive hearing loss following acquired cytomegalovirus infection in an immunocompromised child.	American journal of otolaryngology	34:89-92, 2013
Kumaki S, Sasahara Y, Kamachi Y, Muramatsu H, Morio T, Goi K, Sugita K, Urabe T, Takada H, <u>Kojima S</u> , Tsuchiya S, Hara T	B-cell function after unrelated umbilical cord blood transplantation using a minimal-intensity conditioning regimen in patients with X-SCID.	International journal of hematology	98:355-360, 2013
Narita A, Muramatsu H, Sakaguchi H, Doisaki S, Tanaka M, Hama A, Shimada A, Takahashi Y, Yoshida N, Matsumoto K, Kato K, Kudo K, Furukawa-Hibi Y, Yamada K, <u>Kojima S</u>	Correlation of CYP2C19 phenotype with voriconazole plasma concentration in children.	J Pediatr Hematol Oncol	35:e219-223, 2013
Suzuki M, Ito Y, Shimada A, Saito M, Muramatsu H, Hama A, Takahashi Y, Kimura H, <u>Kojima S</u>	Long-Term Parvovirus B19 Infections With Genetic Drift After Cord Blood Transplantation Complicated by Persistent CD4+ Lymphocytopenia.	J Pediatr Hematol Oncol	in press
Nakayama H, Fukuda S, Matsushita N, Nishida-Fukuda H, Inoue H, <u>Shirakata Y</u> , Hashimoto K, Higashiyama S	Human antigen R-mediated mRNA stabilization is required for ultraviolet B-induced antoinduction of amphiregulin in keratinocytes.	J Biol Chem	288:10338-10348, 2013
Dai X, Okazaki H, Hanakawa Y, Murakami M, Tohyama M, <u>Shirakata Y</u> , Sayama K	Ecrrine sweat contains IL-1alpha, IL-1beta and IL-31and activates epidermal keratinocytes as a danger signal.	PLOS ONE	8:e67666, 2013
Ono Y, Torii K, Shintani Y, Nishida E, Nakamura M, <u>Shirakata Y</u> , Haarmann-Stemmann T, Abel J, Krutmann J, Morita A	Role of the aryl hydrocarbon receptor in tobacco smoke extract-induced matrix metalloproteinase-1 expression.	Exp Dermatol	22:349-353, 2013
<u>Kurosawa M</u> , Takagi A, Tamakoshi A, Kawamura T, Inaba Y, Yokoyama K, Kitajima Y, <u>Aoyama Y</u> , <u>Iwatsuki K</u> , <u>Ikeda S</u>	Epidemiology and clinical characteristics of bullous congenital ichthyosiform erythroderma (keratinolytic ichthyosis)in Japan: Results from a nationwide survey.	J Am Acad Dermatol	68(2):278-283, 2013

著者名	論文題目	雑誌名	巻:頁, 西暦年号
<u>Ikeda S</u> , Takahashi H, <u>Suga Y</u> , Eto H, Etoh T, Okuma K, Takahashi K, Kanbara T, Seishima M, Morita A, Imai Y, Kanekura T	Therapeutic depletion of myeloid lineage leukocytes in patients with generalized pustular psoriasis indicates a major role for neutrophils in the immunopathogenesis of psoriasis.	J Am Acad Dermatol	68(4):609-617, 2013
Fukai T, Hiruma M (Masataro), Ogawa Y, <u>Ikeda S</u> , Ikeda H, Sano A, Makimura K	A case of phaeohyphomycosis caused by <i>Exophiala oligosperma</i> successfully treated with local hyperthermia.	Medical Mycology Journal	54:297-301, 2013
Ohtsuki A, Hasegawa T, Komiya E, Takagi A, <u>Ikeda S</u>	308-nm Excimer Lamp for the Treatment of Alopecia Areata: Clinical Trial 16 cases.	Indian J Dermatol	58(4):326, 2013
Takai T, Chen X, Xie Y, Vu AT, Le TA, Kinoshita H, Kawasaki J, Kamijo S, Hara M, Ushio H, Baba T, Hiramatsu K, <u>Ikeda S</u> , Ogawa H, Okumura K	TSLP expression induced via Toll-like receptor pathways in human keratinocytes.	Methods Enzymol	in press
Takeichi T, Sugiura K, Arai H, Ishii K, Kono M, <u>Akiyama M</u>	Sporadic VACTERL association in a Japanese family with Sjögren-Larsson syndrome.	Acta Dermatovenereol	93:579-580, 2013
Shibata A, Sugiura K, Kimura U, Takamori K, <u>Akiyama M</u>	A novel ATP2C1 early truncation mutation suggests haploinsufficiency as a pathogenic mechanism in a patient with Hailey-Hailey disease.	Acta Dermatovenereol	93:719-720, 2013
Shimizu Y, Sugiura K, Aoyama Y, Ogawa Y, Hitomi K, Iwatsuki K, <u>Akiyama M</u>	Novel ABCA12 missense mutation p.Phe2144Ser underlies congenital ichthyosiform erythroderma.	J Dermatol	40:581-582, 2013
Sugiura K, Teranishi M, Matsumoto Y, <u>Akiyama M</u>	Clouston syndrome with heterozygous GJB6 mutation p.Ala88Val and GJB2 variant p.Val27Ile revealing mild sensorineural hearing loss and photophobia.	JAMA Dermatol	149:1350-1351, 2013
Sugiura K, Takemoto A, Yamaguchi M, Takahashi H, Shoda Y, Mitsuma T, Tsuda K, Nishida E, Togawa Y, Nakajima K, Sakakibara A, Kawachi S, Shimizu M, Ito Y, Takeichi T, Kono M, Ogawa Y, Muro Y, Ishida-Yamamoto A, Sano S, Matsue H, Morita A, Mizutani H, Iizuka H, Muto M, <u>Akiyama M</u>	The majority of generalized pustular psoriasis without psoriasis vulgaris is caused by deficiency of interleukin-36 receptor antagonist.	J Invest Dermatol	133:2514-2521, 2013
Sugiura K, Takeichi T, Tanahashi K, Ito Y, Kosho T, Saida K, Uhara H, Okuyama R, <u>Akiyama M</u>	Lamellar ichthyosis in a collodion baby caused by CYP4F22 mutations in a non-consanguineous family outside the Mediterranean.	J Dermatol Sci	72:193-195, 2013
Sugiura K, <u>Suga Y</u> , <u>Akiyama M</u>	Very mild lamellar ichthyosis with compound heterozygous <i>TGMI</i> mutations including the novel missense mutation p.Leu693Phe.	J Dermatol Sci	72:197-199, 2013
Kobayashi T, Sugiura K, Takeichi T, <u>Akiyama M</u>	The novel CTSC homozygous nonsense mutation p.Lys106X in a patient with Papillon-Lefevre syndrome with all permanent teeth remaining at over 40 years of age.	Br J Dermatol	169:948-50, 2013

著者名	論文題目	雑誌名	巻:頁, 西暦年号
Igawa S, Kishibe M, Honma M, Murakami M, Mizuno Y, <u>Suga Y</u> , Seishima M, Ohguchi Y, Akiyama M, Hirose K, <u>Isida-Yamamoto A</u> , Iizuka H	Aberrant distribution patterns of corneodesmosomal components of tape-stripped corneocytes in atopic dermatitis and related skin conditions (ichthyosis vulgaris, Netherton syndrome and peeling skin syndrome type B).	J Dermatol Sci	72:54-60, 2013
Aoi J, Makino K, Sakai K, Masuguchi S, Fukushima S, Jinnin M, Inoue Y, Koga H, <u>Hashimoto T</u> , Ihn H	Case of paraneoplastic pemphigus with follicular lymphoma treated with rituximab.	J Dermatol	40(4):285-286, 2013
Arai R, Okuda H, Tsuruta D, Koga H, Teye K, Ishii N, Ohata C, <u>Hashimoto T</u>	IgA pemphigus with non-pustular erythematous lesions and IgA antibodies to desmocollins 1 and 2	Eur J Dermatol	2013. Jun 24. [Epub ahead of print]
Asahina A, Koga H, Suzuki Y, <u>Hashimoto T</u>	IgA pemphigus associated with diffuse large B-cell lymphoma showing unique reactivity with desmocollins: unusual clinical and histopathological features.	Br J Dermatol	168(1):224-226, 2013
Fukuchi O, Suko A, Matsuzaki H, Baba H, Yoshida H, Takeuchi T, Odawara S, Fukuda S, <u>Hashimoto T</u>	Anti-laminin-332 mucous membrane pemphigoid with autoantibodies to alpha3, beta3 and gamma2 subunits of laminin-332 as well as to BP230 and periplakin associated with adenocarcinoma from an unknown primary site	J Dermatol	40(1):61-62, 2013
T, Akin MA, Sarici D, Hallac K, Kurtoglu S, <u>Hashimoto T</u>	Guaiazulene: a new treatment option for recalcitrant diaper dermatitis in NICU patients.	J Matern Fetal Neonatal Med	26(2):197-200, 2013
<u>Hamada T</u> , Tsuruta D, Fukuda S, Ishii N, Teye K, Numata S, Dainichi T, Karashima T, Ohata C, Furumura M, <u>Hashimoto T</u>	How do keratinizing disorders and blistering disorders overlap?	Exp Dermatol	22(2):83-87, 2013
Haneda T, Imai Y, Koga H, <u>Hashimoto T</u> , Yamanishi K	Case of paraneoplastic pemphigus with follicular lymphoma treated with rituximab.	J Dermatol	40(4):283-285, 2013
Hiroyasu S, Ozawa T, Kobayashi H, Ishii M, Aoyama Y, Kitajima Y, <u>Hashimoto T</u> ,	Jones JC, Tsuruta D: Bullous pemphigoid IgG induces BP180 internalization via a macropinocytic pathway.	Am J Pathol	182(3):828-840, 2013
Imamura K, Tsuruta D, Tsuchisaka A, Mori T, Ohata C, Furumura M, <u>Hashimoto T</u>	Anaphylaxis caused by ingestion of jellyfish.	Eur J Dermatol	2013. Jun 24. [Epub ahead of print]
Kanwar AJ, Tsuruta D, Vinay K, Koga H, Ishii N, Dainichi T, <u>Hashimoto T</u>	Efficacy and safety of rituximab treatment in Indian pemphigus patients.	J Eur Acad Dermatol Venereol	27(1):e17-23, 2013
Kim J, Teye K, Koga H, Yeoh SC, Wakefield D, <u>Hashimoto T</u> , Murrell DF	Successful single-cycle rituximab treatment in a patient with pemphigus vulgaris and squamous cell carcinoma of the tongue and IgG antibodies to desmocollins.	J Am Acad Dermatol	69(1):e26-27, 2013.
Koga H, Ishii N, Dainichi T, Tsuruta D, <u>Hamada T</u> , Ohata C, Karashima T, Furumura M, <u>Hashimoto T</u>	An attempt to develop mouse model for anti-laminin gamma1 pemphigoid	J Dermatol Sci	70(2):108-115, 2013
Koga H, Tsuruta D, Ohyama B, Ishii N, <u>Hamada T</u> , Ohata C, Furumura M, <u>Hashimoto T</u>	Desmoglein 3, its pathogenicity and a possibility for therapeutic target in pemphigus vulgaris.	Expert Opin Ther Targets	17(3):293-306, 2013

著者名	論文題目	雑誌名	巻:頁, 西暦年号
Miyashima S, Honda M, Hashimoto K, Tatematsu K, <u>Hashimoto T</u> , Sato-Nara K, Okada K, Nakajima K.	A comprehensive expression analysis of the Arabidopsis MICRORNA165/6 gene family during embryogenesis reveals a conserved role in meristem specification and a non-cell-autonomous function	Plant Cell Physiol	54(3):375-384, 2013
Komorowski L, Muller R, Vorobyev A, Probst C, Recke A, Jonkman MF, <u>Hashimoto T</u> , Kim SC, Groves R, Ludwig RJ, Zillikens D, Stocker W, Schmidt E	Sensitive and specific assays for routine serological diagnosis of epidermolysis bullosa acquisita.	J Am Acad Dermatol	68(3):e89-95, 2013
Kurashige Y, Minemura T, Nagatani T, Koga H, <u>Hashimoto T</u>	Acute blistering disease presenting IgG autoantibodies against NC16A and COOH-terminal domains of BP180 and laminin-332, with characteristic distribution of eruptions.	Eur J Dermatol	23(1):109-110, 2013
Majima Y, Yagi H, Tateishi C, Groth S, Schmidt E, Zillikens D, Koga H, <u>Hashimoto T</u> , Tokura Y	A successful treatment with ustekinumab in a case of antilaminin-gamma1 pemphigoid associated with psoriasis.	Br J Dermatol	168(6):1367-1369, 2013
Maruta Y, Ohata C, Ishii N, Koga H, Ohyama B, Dainichi T, <u>Hamada T</u> , Furumura M, Tsuruta D, Nakama T, <u>Hashimoto T</u>	Linear IgA bullous dermatosis with a prurigo nodularis-like appearance.	Eur J Dermatol	23(1):107-109, 2013
Matsukura S, Takahashi K, Hirokado M, Ikezawa Y, Nakamura K, Fukuda S, <u>Hashimoto T</u> , Ikezawa Z, Aihara M, Kambara T	Recalcitrant pemphigus herpetiformis with high titer of immunoglobulin G antibody to desmoglein 1 and positive IgG antibody to desmocolin 3, elevating thymus and activation-regulated chemokine	Int J Dermatol	2013. Feb 22. doi: 10.1111/j.1365-4632.2012.05725.x. [Epub ahead of print]
Mitate E, Kawano S, Nakao Y, Goto Y, Kobayashi I, Onozawa K, <u>Hashimoto T</u> , Nakamura S	Concurrence of autoantibodies to both laminin gamma1 and gamma2 subunits in a patient with kidney rejection response.	Acta Derm Venereol	93(1):114-115, 2013
Nin M, Tokunaga D, Ishii N, Komai A, <u>Hashimoto T</u> , Katoh N	Case of coexisting psoriatic arthritis and bullous pemphigoid improved by etanercept.	J Dermatol	40(1):55-56, 2013
Numata S, Teye K, Tsuruta D, Sogame R, Ishii N, Koga H, Natsuaki Y, Tsuchisaka A, <u>Hamada T</u> , Karashima T, Nakama T, Furumura M, Ohata C, Kawakami T, Schepens I, Borradori L, <u>Hashimoto T</u>	Anti-alpha-2-macroglobulin-like-1 autoantibodies are detected frequently and may be pathogenic in paraneoplastic pemphigus.	J Invest Dermatol	133(7):1785-1793, 2013
Ohata C, Higashi Y, Yamagami J, Koga H, Ishii N, Kanekura T, Furumura M, <u>Hashimoto T</u>	Coexistence of Pemphigus Herpetiformis With IgG Antibodies to Desmocolin 1 and Pemphigoid With IgG Antibodies to BP180 C-Terminal Domain and Laminin gamma2.	JAMA Dermatol	149(4):502-504, 2013
Ohata C, Koga H, Teye K, Ishii N, Hamada T, Dainichi T, Furumura M, Sato M, Sueki H, <u>Hashimoto T</u>	Concurrence of bullous pemphigoid and herpetiform pemphigus with IgG antibodies to desmogleins 1/3 and desmocolins 1-3.	Br J Dermatol	168(4):879-881, 2013

著者名	論文題目	雑誌名	巻:頁, 西暦年号
Ohata C, Saiki M, Koga H, Ono F, Ohyama B, Ishii N, <u>Hamada T</u> , Tsuruta D, Furumura M, <u>Hashimoto T</u>	Discoid lupus erythematosus with the presence of a lupus band in the hair follicle basement membrane zone and IgA anti-BP230 autoantibodies.	Eur J Dermatol	2013. Jun 19. [Epub ahead of print]
Ohata C, Yasunaga M, Tsuruta D, Ishii N, <u>Hamada T</u> , Dainichi T, Karashima T, Nakama T, <u>Hashimoto T</u>	Nodular morphea (NM): report of a case of concurrent NM and morphea profunda associated with limited type systemic sclerosis, and overview and definition for NM.	Eur J Dermatol	23(1):87-93, 2013
Ono S, Tanioka M, Tanizaki H, Fujisawa A, Koga H, <u>Hashimoto T</u> , Kamiya K, Aoyama Y, <u>Iwatsuki K</u> , Miyachi Y	Concurrence of autoantibodies to bullous pemphigoid antigens and desmoglein 3: analysis of pathogenic and nonpathogenic antibodies	Br J Dermatol	168(6):1357-1360, 2013
Parmar NV, Kanwar AJ, Minz RW, Parsad D, Vinay K, Tsuruta D, Ishii N, <u>Hashimoto T</u>	Assessment of the therapeutic benefit of dexamethasone cyclophosphamide pulse versus only oral cyclophosphamide in phase II of the dexamethasone cyclophosphamide pulse therapy: a preliminary prospective randomized controlled study.	Indian J Dermatol Venereol Leprol	79(1):70-76, 2013
Poot AM, Diercks GF, Kramer D, Schepens I, Klunder G, <u>Hashimoto T</u> , Borradori L, Jonkman MF, Pas HH	Laboratory diagnosis of paraneoplastic pemphigus.	Br J Dermatol	169(5):1016-1024, 2013
Sato H, Toriyama K, Yagi S, Takanari K, Takama H, Sawada M, <u>Hashimoto T</u> , Kamei Y	Surgical Correction of Microstomia in a Patient With Antilaminin 332 Mucous Membrane Pemphigoid.	Annals of plastic surgery	2013. Mar 12. [Epub ahead of print]
Shimizu A, Funakoshi T, Ishibashi M, Yoshida T, Koga H, <u>Hashimoto T</u> , Amagai M, Ishiko A	Immunoglobulin G deposition to nonhemidesmosomal lamina lucida and early neutrophil involvement are characteristic features in a case of anti-p200 pemphigoid.	Br J Dermatol	168(3):647-655, 2013
Sugiura K, Koga H, Ishikawa R, Matsumoto T, Matsubara M, Hagiwara R, Muro Y, <u>Hashimoto T</u> , Akiyama M	Paraneoplastic pemphigus with anti-laminin-332 autoantibodies in a patient with follicular dendritic cell sarcoma	JAMA Dermatol	149(1):111-113, 2013
Suzuki K, Nishiwaki K, Yamada H, Baba H, Hori K, Takeuchi T, Fukuda S, <u>Hashimoto T</u>	Case of paraneoplastic pemphigus associated with retroperitoneal diffuse large B-cell lymphoma and fatal bronchiolitis obliterans-like lung disease.	J Dermatol	40(2):142-144, 2013
Waki T, Miyashima S, Nakaniishi M, Ikeda Y, <u>Hashimoto T</u> , Nakajima K	A GAL4-based targeted activation tagging system in Arabidopsis thaliana.	Plant J	73(3):357-367, 2013
Takegami Y, Makino T, Matsui K, Ueda C, Fukuda S, <u>Hashimoto T</u> , Shimizu T	Coexistence of antilaminin-332-type mucous membrane pemphigoid, lamina lucida-type linear IgA bullous dermatosis and Sjogren syndrome	Clin Exp Dermatol	38(2):194-196, 2013
Tashima S, Konishi K, Koga H, <u>Hashimoto T</u>	A case of vancomycin-induced linear IgA bullous dermatosis with circulating IgA antibodies to the NC16a domain of BP180.	Int J Dermatol	2013. Jul 8. doi: 10.1111/ijd.12047. [Epub ahead of print]
Tsuruta D, Brzezinski P, Koga H, Ohata C, Furumura M, <u>Hashimoto T</u>	Bullous pemphigoid with prominent milium formation.	Acta Dermatovenol Croat	21(1):35-38, 2013

著者名	論文題目	雑誌名	巻:頁, 西暦年号
Tsuruta D, Dainichi T, <u>Hamada T</u> , Ishii N, <u>Hashimoto T</u>	Molecular diagnosis of autoimmune blistering diseases.	Methods Mol Biol	961:17-32, 2013
Tsuruta D, Ohzono A, Ishii N, Ono F, <u>Hamada T</u> , Dainichi T, Ohata C, Furumura M, Noda K, <u>Hashimoto T</u>	Overlap syndrome comprised of systemic sclerosis and systemic lupus erythematosus associated with spinocerebellar ataxia type 6 and MALT lymphoma.	Eur J Dermatol	23(1):117, 2013
Ueda A, Ishii N, Temporin K, Yamazaki R, Murakami F, Fukuda S, <u>Hamada T</u> , Dainichi T, Kyoya M, Saito C, Matsunaga R, Kimura S, Kawakami T, Soma Y, <u>Hashimoto T</u>	IgA pemphigus with paraneoplastic pemphigus-like clinical features showing IgA antibodies to desmoglein 1/3 and desmocollin 3, and IgG and IgA antibodies to the basement membrane zone	Clin Exp Dermatol	38(4):370-373, 2013
Ueda A, Ishii N, Teye K, Dainichi T, Ohyama B, <u>Hamada T</u> , Tsuruta D, Kamioka N, Mitsui K, Hosaka H, Soh I, Nakada T, <u>Hashimoto T</u>	Unique herpetiform bullous dermatosis with IgG antibodies to desmocollins 1/3 and LAD-1.	British Journal of Dermatology	169(3):719-721, 2013
Ueo D, <u>Hamada T</u> , <u>Hashimoto T</u> , Hatano Y, Okamoto O, Fujiwara S	Late-onset Darier's disease due to a novel missense mutation in the ATP2A2 gene: a different missense mutation affecting the same codon has been previously reported in acrokeratosis verruciformis.	J Dermatol	40(4):280-281, 2013
Wakumoto-Nakashima K, Yoshida Y, Adachi K, Yamamoto O, <u>Hashimoto T</u>	Rare appearance of toxic epidermal necrolysis-like histopathological features in a case of atypical pemphigus with serological pemphigus vulgaris character.	J Dermatol	40(1):63-64, 2013
Washio K, Nakamura A, Fukuda S, <u>Hashimoto T</u> , Horikawa T	A case of lichen planus pemphigoides successfully treated with a combination of cyclosporine a and prednisolone. Case reports in dermatology	J Dermatol	5(1):84-87, 2013
Wozniak K, <u>Hashimoto T</u> , Ishii N, Koga H, Huczek M, Kowalewski C	Fluorescence overlay antigen mapping using laser scanning confocal microscopy differentiates linear IgA bullous dermatosis from epidermolysis bullosa acquisita mediated by IgA	Br J Dermatol	168(3):634-638, 2013
Yamada T, Nakamura S, Demitsu T, Nakamura T, Iida E, Yoneda K, Fukuda S, <u>Hashimoto T</u>	Paraneoplastic pemphigus mimicking toxic epidermal necrolysis associated with B-cell lymphoma.	J Dermatol	40(4):286-288, 2013
Yashiro M, Nakano T, Taniguchi T, Katsuoka K, Tadera N, Miyazaki K, Teye K, Koga H, <u>Hashimoto T</u>	IgA Paraneoplastic Pemphigus in Angioimmunoblastic T-cell Lymphoma with Antibodies to Desmocollin 1, Type VII Collagen and Laminin 332.	Acta Derm Venereol	2013. Jul 4. doi: 10.2340/00015555-1660. [Epub ahead of print]
Yoshimura K, Nakano S, Tsuruta D, Ohata C, <u>Hashimoto T</u>	Successful treatment with 308-nm monochromatic excimer light and subsequent tacrolimus 0.03% ointment in refractory plasma cell cheilitis.	J Dermatol	40(6):471-474, 2013
Tani N, Ogoshi M, Kawakubo C, Tajima S, <u>Hamada T</u> , Ishii N, Furumura M, Tsuruta D, Ohata C, <u>Hashimoto T</u>	Case of relapsing polychondritis showing elevation of anti-type II collagen antibody titer	J Dermatol	40(9):767-768, 2013

著者名	論文題目	雑誌名	巻:頁, 西暦年号
Yoshida Y, Tsuruta D, Nagata H, Ishii N, Nakama T, Yomoda M, Furumura M, Ohata C, Hashimoto T	Second reported case of unilateral angiokeratoma of the vulva.	J Dermatol	40(9):763-764, 2013
Li X, Hamada T , Ohata C, Furumura M, Hashimoto T	Potential mesenchymal stem cell therapy for skin diseases	Exp Dermatol	22(8):515-516, 2013
Saruta H, Ishii N, Teye K, Ono F, Ohyama B, Koga H, Ohata C, Furumura M, Tsuruta D, Hashimoto T	Two cases of pemphigus vegetans with IgG anti-desmocolin 3 antibodies.	JAMA Dermatol	149(10):1209-1213, 2013
Kawano H, Ohata C, Ono F, Ishii N, Hamada T , Nakama T, Furumura M, Tsuruta D, Hashimoto T	Edema and ulcers on the legs and dilated abdominal veins caused by thromboembolism of inferior vena cava in a patient with protein C deficiency	Indian J Dermatol Venereol Leprol	79(5):725, 2013
Yoneda K, Demitsu T, Kakurai M, Narita T, Nakai K, Kubota Y, Ishii N, Hashimoto T	Detection of Apoptotic Keratinocytes in a Case of Bullous Pemphigoid Developed after Graft-versus-host Disease.	Acta Derm Venereol,	2013. Aug 8. doi: 10.2340/00015555-1676. [Epub ahead of print]
Kato K, Moriyama Y, Saito H, Koga H, Hashimoto T	A Case of Mucous Membrane Pemphigoid Involving the Trachea and Bronchus with Autoantibodies to beta3 Subunit of Laminin-332.	Acta Derm Venereol	2013. Aug 27. doi: 10.2340/00015555-1659. [Epub ahead of print]
Nishimura R, Fujimoto N, Kito K, Uchiyama K, Koga H, Hodohara K, Hashimoto T , Fujiyama Y, Tanaka T	Refractory mucous membrane pemphigoid which developed after allogeneic stem cell transplantation and was successfully treated with rituximab.	Eur J Dermatol	23(4):562-564, 2013
Fukuda S, Li X, Momosaki N, Hamada T , Nakama T, Yasumoto S, Awazawa R, Uezato H, Hashimoto T	Detection of human papilloma virus type 60 in a case of ridged wart.	Eur J Dermatol	23(4):558-559, 2013
Sakaguchi M, Bito T, Oda Y, Kikusawa A, Nishigori C, Munetsugu T, Yokozeki H, Ito-tani Y, Niguma T, Tsuruta D, Tateishi C, Ishii N, Koga H, Hashimoto T	Three Cases of Linear IgA/IgG Bullous Dermatitis Showing IgA and IgG Reactivity With Multiple Antigens, Particularly Laminin-332	JAMA Dermatol	2013. Sep 4. doi: 10.1001/jamadermatol.2013.5691. [Epub ahead of print]
Numata S, Hamada T , Teye K, Matsuda M, Ishii N, Karashima T, Kabashima K, Furumura M, Ohata C, Hashimoto T	Complete Maternal Isodisomy of Chromosome 5 in a Japanese Patient with Netherton Syndrome.	J Invest Dermatol,	2013. Sep 16. doi:10.1038/jid.2013.398. [Epub ahead of print]
Tsuruta D, Kanwar AJ, Vinay K, Fukuda S, Koga H, Dainichi T, Ohata C, Ishii N, Hashimoto T	Clinical and immunologic characterization in 26 Indian pemphigus patients.	J Cutan Med Surg	17(5):321-331, 2013
Garcia-Martin P, Fraga J, Hashimoto T , Garcia-Diez A	A: Brunsting-perry type cicatricial pemphigoid with IgG autoantibodies to LAD-1	Br J Dermatol	2013. Oct 11. doi: 10.1111/bjd.12677. [Epub ahead of print]

著者名	論文題目	雑誌名	巻:頁, 西暦年号
Gohara M, Yagami A, Suzuki K, Morita Y, Sano A, Iwata Y, <u>Hashimoto T</u> , Matsunaga K	Allergic contact dermatitis caused by phenylethyl resorcinol [4-(1-phenylethyl)-1,3-benzenediol], a skin-lightening agent in cosmetics.	Contact dermatitis	69(5):319-320, 2013
Sakaguchi M, Tsuruta D, Ishii N, <u>Hamada T</u> , Ohata C, Furumura M, <u>Hashimoto T</u>	Development of acquired idiopathic generalized anhidrosis in a case of Vogt-Koyanagi-Harada disease.	Eur J Dermatol	23(5):724-725, 2013
Shintani T, Ohata C, Koga H, Ohyama B, <u>Hamada T</u> , Nakama T, Furumura M, Tsuruta D, Ishii N, <u>Hashimoto T</u>	Combination therapy of fexofenadine and montelukast is effective in prurigo nodularis and pemphigoid nodularis.	Dermatol Ther	2013. Sep 17. doi: 10.1111/dth.12094. [Epub ahead of print]
Ohata C, Fukuda S, Ishii N, Koga H, <u>Hamada T</u> , Furumura M, <u>Hashimoto T</u>	Refractory anti-laminin gamma1 pemphigoid with psoriasis vulgaris successfully treated by double-filtration plasmapheresis.	Eur J Dermatol	23(5):715-716, 2013
Kawakami T, Koga H, Saruta H, Ueda A, Inoue Y, Soma Y, Ishii N, <u>Hashimoto T</u>	Four mild but refractory cases of pemphigus foliaceus successfully treated with intravenous immunoglobulin.	J Dermatol	2013. Oct 16. doi: 10.1111/1346-8138.12280. [Epub ahead of print]
Saruta H, Tsuruta D, Hashikawa K, Ohyama B, Ishii N, Furumura M, Ohata C, Yasumoto S, Ohshima K, <u>Hashimoto T</u>	Old-aged case of indolent grade III lymphomatoid granulomatosis successfully treated only with oral prednisolone.	J Dermatol	2013. Oct 16. doi: 10.1111/1346-8138.12261. [Epub ahead of print]
Tanaka N, Ohata C, Ishii N, Imamura K, Ueda A, Furumura M, Yasumoto S, Kawakami T, Tsuruta D, <u>Hashimoto T</u>	Comparative study for the effect of photodynamic therapy, imiquimod immunotherapy and combination of both therapies on 40 lesions of actinic keratosis in Japanese patients.	J Dermatol	2013. Oct 22. doi:10.1111/1346-8138.12310. [Epub ahead of print]
Kamata M, Fujita H, Hamanaka T, Takahashi K, Koga H, <u>Hashimoto T</u> , Sato S	Anti-Laminin gamma1 Pemphigoid Accompanied by Autoantibodies to Laminin alpha3 and gamma2 Subunits of Laminin-332.	JAMA Dermatol	2013. Oct 23. doi: 10.1001/jamadermatol.2013.5358. [Epub ahead of print]
Kitagawa C, Nakajima K, Aoyama Y, Fujioka A, Nakajima H, Tarutani M, Tsuruta D, <u>Hashimoto T</u> , Sano S	A Typical Case of Paraneoplastic Pemphigus Without Detection of Malignancy: Effectiveness of Plasma	Exchange. Acta Derm Venereol	2013. Oct 25. doi: 10.2340/00015555-1742. [Epub ahead of print]
Ohzono A, Tsuruta D, Hashikawa K, Yoshida Y, Arakawa M, Maeyama Y, Nakama T, Furumura M, Ohata C, <u>Hashimoto T</u>	Three cases of pseudolymphoma successfully treated with amoxicillin.	Eur J Dermatol	2013. Oct 10. [Epub ahead of print]
Krol RP, Yasukochi A, <u>Hashimoto T</u>	Towards understanding mechanisms of autoimmune bullous skin diseases.	N Am J Med Sci	5(10):609-610, 2013
Otten JV, <u>Hashimoto T</u> , Hertl M, Payne AS, Sitaru C	Molecular Diagnosis in Autoimmune Skin Blistering Conditions.	Current molecular medicine	2013. Oct 27. [Epub ahead of print]
Kanwar AJ, Vinay K, Parmar NV, Koga H, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> .	Anti-desmoglein antibody-negative paraneoplastic pemphigus with coexisting bullous pemphigoid, successfully treated with rituximab.	Int J Dermatol	in press

著者名	論文題目	雑誌名	巻:頁, 西暦年号
Iijima S, Hamada T, Kanzaki M, Ohata C, Hashimoto T	Sibling cases of Hailey-Hailey disease showing atypical clinical features and unique disease course.	JAMA Dermatol	in press
Kanwar AJ, Vinay K, Saikia UN, Koga H, Teye K, Tsuruta D, Hashimoto T	The first reported Indian case of IgG/IgA pemphigus reactive with desmoglein 1 with additional undetermined reactivity with epidermal basement membrane zone.	Indian J of Dermatol Venerol Leprol	in press
Fumimori T, Tsuruta D, Kawakami T, Ohata C, Furumura M, Hashimoto T	The effect of monochromatic excimer light on palmoplantar pustulosis: A clinical study performed in a private clinic by a dermatological specialist.	J Dermatol	in press
Saruta H, Ono F, Hamada T, Ishii N, Matsuda M, Ohata C, Furumura M, Tsuruta D, Hashimoto T	Multiple unilocular epidermal cysts presented as a single lesion on the toe web.	J Dermatol	in press
Dermitsu T, Yamada T, Nakamura S, Kakurai M, Dohmoto T, Kamiya K, Aoyama Y, Iwatsuki K, Yamagami J, Ohyama B, Ohata C, Koga H, Hashimoto T	Detection of autoantibodies to precursor proteins of desmogleins in sera of a patient with Bowen carcinoma.	Acta Derm Venerol	in press
Inaba Y, Kanazawa N, Furukawa F, Sakurane Y, Nakano H, Sawamura D, Yoneda K, Hamada T, Hashimoto T	Pachyonychia congenita in Japan: report of familial cases with a recurrent KRT16 mutation and review of the literature.	Eur J Dermatol	in press
Jinbu Y, Kashiwazaki A, Munemasa N, Ozawa M, Kusama M, Ishii N, Ohyama B, Ohata C, Hashimoto T	Oral lesions of a patient with antidesmoglein 1 antibody-positive and antidesmoglein 3 antibody-negative pemphigus.	J Oral Maxillofac Surg Med Pathol	in press
Karashima T, Tsuruta D, Hamada T, Ishii N, Ono F, Ueda A, Abe T, Nakama T, Dainichi T, Hashimoto T	Morphological changes of the hair roots in alopecia areata: a scanning electron microscopic study.	J Dermatol	40(12):1045-1048, 2013
Florea F, Bernards C, Caproni M, Kleindienst J, Hashimoto T, Koch M, Sitaru C	<i>Ex vivo</i> pathogenicity of anti-laminin γ 1 autoantibodies	Am J Pathol	in press
Zenke Y, Nakano T, Eto H, Koga H, Hashimoto T	A case of vancomycin-associated linear IgA bullous dermatosis and IgA antibodies to the α 3 subunit of laminin-332.	Br J Dermatol	in press
España A, Koga H, Suárez-Fernández R, Ohata C, Ishii N, Irarrazaval I, Teye K, Ohyama B, Hashimoto T	Antibodies to amino-terminal domain of desmoglein 1 are retained during transition from pemphigus vulgaris to pemphigus foliaceus.	Eur J Dermatol	in press
Muro Y, Sugiura K, Shiraki A, Ishii N, Hashimoto T, Akiyama M	Detection of autoantibodies to periplakin and envoplakin in paraneoplastic pemphigus but not idiopathic pulmonary fibrosis using full-length recombinant proteins	Clin Chim Acta	in press